

アジア・パシフィック地域での活動

世界中の人々に、 健康と幸せな生活を届けたい。

ジョンソン・エンド・ジョンソンの社会貢献活動の輪は世界中に広がっています。
数多く行われている活動の中から、アジア・パシフィック地域での活動の一部をご紹介します。



ジョンソン・エンド・ジョンソン
コーポレート・コントリビューションズ
アジア・パシフィック
ディレクター

津野 桂



India ーインド

少女たちに教育の機会を提供する



J&JインドはNanhi Kaliプロジェクトへの支援を通じ、特に貧しい農村部において経済的な理由などで学校教育を続けることが困難な女子児童へ、学習に必要な物品の提供や教育の遅れを取り戻す補習などを行い、学校教育の継続を支援するとともに、家族に対して男子と同等の教育の機会を女子にも与えるよう啓発活動を行っています。



Vietnam ーベトナム

障がいを持つ子どもたちに
明るい未来を



「ハノイ子ども基金」(The Fund for Hanoi Children)はさまざまな障がいを持つ子どもたちに対する学校教育・職業訓練・リハビリテーションの推進に努めており、彼らの自立を促進しています。同時に介護スタッフを育成し、家族を支える活動をしています。J&Jベトナムはこの活動を支援しています。



Philippines
ーフィリピン

助産師プログラムで
地域の健康を支える

フィリピンの多くの地方では医師や看護師が不足しており、助産師が地域保健において重要な役割を担っています。J&Jフィリピンとフィリピン助産師協会(Integrated Midwives Association of the Philippines)は共同



で「助産師のためのリーダーシップ養成プログラム(MLDP)」を実施し、臨床スキル向上に加え、地域保健推進のリーダーとなるためのトレーニングの機会を提供しています。





China 一中国

震災後の心理的リハビリテーションで子どもたちを救済



2008年5月に発生した四川省における大地震は甚大な被害をもたらした。死者は約7万人、地域の建物の80%が倒壊したほか、被災した人々に深刻な心理的影響を及ぼしました。復興支援の一環として、J&J中国と四川大学華西病院は共同で、被災地の子どもたちの心理的リハビリテーションプログラムを実施しています。このプログラムは、震災直後J&Jグループ各社より行われた大規模な緊急支援に続き実施されているものです。



Taiwan 一台湾

高齢者の日常生活をサポート

台湾では一人暮らしの高齢者が増加しており、その多くは日常生活の基本的な事柄にも援助を必要としています。ホンダオ（弘道）老人福利基金会では、食事の配達、入浴といった在宅サービスや地域ケアステーションを運営しています。J&Jは資金面だけでなく、社員のボランティアなどを通じて支援をしています。



Australia 一オーストラリア

オーストラリア先住民児童の小学校就学サポート

オーストラリア先住民のコミュニティでは、アルコール依存や失業、貧困、暴力などの問題が多く発生しており、子どもたちは難しい状況におかれています。教育レベルも低く、学校教育から脱落する子どもも少なくありません。J&Jオーストラリアは、オーストラリア中部のアリスプリングスに暮らす先住民の子どもたちへの教育プログラムを支援しています。子どもたちのニーズに合わせた授業の提供に加え、学校への送迎や食事の補助、日用品の提供といった総合的な取り組みを通じて、子どもたちが学校教育を受け続けるための環境づくりを目指しています。



Indonesia 一インドネシア

貧困地域の子どもたちの健康増進

ジャカルタ北部シリシグ地域では、劣悪な衛生環境と栄養不良によりこの地域に暮らす人々の健康は著しく悪化しており、特に子どもへの影響は深刻です。J&Jインドネシアはインドネシア子ども福祉財団(YKAI)と共に、子どもたちの無料健康診断、医薬品や食料の提供など、地域の人々に必要とされている支援活動を実施し、治療が必要な場合には低額医療が可能な病院へ紹介も行っています。さらに、健康管理や衛生環境改善の啓発を住民に行っています。



アジア・パシフィック社会貢献親善大使とは

アジア・パシフィック地域のJ&Jでは、積極的に社会貢献活動に取り組む社員を各国から1名ずつ「社会貢献親善大使」として選出し、交流をはかっています。2008年度、日本からはジョンソン・エンド・ジョンソン(株)コンシューマーカンパニーの金子昭雄が選任されました。



親善大使の金子昭雄